

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック
山形中央ロータリークラブ 2025-2026

CLUB NEWS

Weekly Report Yamagata Central

2026
01

No.1415-1417回

毎週火曜日
12:30～13:30
(但し第5週は18:30～)

特集

- ◆ 年男会員卓話 年男会員：奥山 宏、米野 崇仁、柴田 修英
- ◆ 新年会
- ◆ 職場訪問 訪問先：株式会社 でん六
- ◆ 会員情報／ニコニコBOX



山形中央ロータリークラブ
<https://ycrc.sakura.ne.jp>

- 第1415回 [2026.1.6 12:30 / ホテルメトロポリタン山形]
◆ソング／国歌・四つのテスト ◆会員総数／38名 ◆出席会員数／27名
- 第1416回 [2026.1.20 18:30 / あげつま]
◆会員総数／38名 ◆出席会員数／34名
- 第1417回 [2026.1.20 12:00 / でん六]
◆ソング／それでこそロータリー ◆会員総数／38名 ◆出席会員数／21名

よいことの
ために
手をとりあおう



(株) ミイエ

米野 崇仁 会員

私からは今年一年の抱負を述べたいと思います。

山形中央ロータリークラブに所属してからまだ半年もたたない、新入会員同然であり、まだ当クラブの活動について詳しくわかっていないので、できる限り例会等に参加し、諸先輩会員方々とより多くの交流を持ち、いち早く慣れていきたいと思っています。

先月末、相川エレクトが次年度の抱負として「働いて、働いて、働いてまいります」と述べておりましたが、私は「学んで、学んで、学びつくして」参りたいと考えております。また、個人的にはこの数か月でなぜか体重が増加してしまったので、「痩せて、痩せて、痩せてまいりたい」とも思っています。

どうぞ本年も宜しくお願いいたします。



(株) 奥山電気工事

奥山 宏 会員

年男として、何か話をしろとの企画と思いますが、お互い迷惑な話です。我々三人午年生まれです。

私の話を聞く羽目になった、皆様を思うと気が引けます。

万事塞翁が馬という中国の故事がありますが、そのように皆様には、災いが福となりますように願っています。

私、2003年に入会しました。今までの歴史を少し振り返りたいと思います。私、米野さんは48歳と思っていましたが、なんと、36歳。驚きです。あの頃は何でもできると信じていました。人生の春ですね。柴田さん、還暦だそうです。見えませんね、若々しいです。私も、このころは、良き先輩に恵まれて、海外事業に参加させていただきました。スポーツと歌、国際交流が主でした。

スポーツでは、ゴルフをとうして、正しいキャデイの選び方、歌の世界では、やはり正しいカラオケ店の選び方などきりがありません。

溺れました。あのバンコックの夕日に。

でも今の年になって、環境ががらりと変わりました。

先輩方に静かな異変が起きています。



柴田塗装店

柴田 修英 会員

今年は私にとって特別な年です。私は1966年生まれ、つまり60年に一度巡ってくる「丙午(ひのえうま)」の年生まれです。

丙午の年が再び訪れる今年、還暦を迎え、まさしく年男となりました。

私が生まれた1966年の丙午の年は、日本中でちょっとした社会現象が起きていたことをご存知でしょうか。当時、「丙午生まれの女性は気性が激しく、夫を早く亡くす」という迷信が広く信じられており、これが社会に大きな影響を及ぼしました。実際に、1966年の出生率は前年に比べて約25%も減少したと言われていています。特に、東京や大阪など都市部では、前年と比べて出生数が大幅に減少したデータも残っています。また、丙午生まれの女性に対する根拠のない偏見や差別が社会問題として取り沙汰されたこともありました。

私自身も、幼い頃から「丙午生まれなんだね」と言われることが多く、時には冗談交じりに「強い子になるね」とか「ちょっと気をつけた方がいいかも」と言われたこともあります。正直、子ども心に複雑な気持ちになったこともありました。しかし、家族や友人はそんな迷信を気にせず、私を温かく見守ってくれました。丙午生まれであることを個性の一つとして受け止めてくれたことに、今でも感謝しています。

時代は変わり、今ではこうした迷信を信じる人は減りつつありますが、それでも丙午の年になるとテレビや新聞などで話題になることもあります。改めて振り返ると、迷信がどれほど大きな影響を社会や人の心を与えてきたのか実感します。一方で、丙午生まれというだけで特別な経験ができたことも、私にとっては大きな財産です。

これからも、丙午生まれであることを誇りに思いながら、自分らしく前向きに歩んでいきたいと思います。次の丙午の年が巡ってくるのは60年後、私は120歳ですので、その時まで元気でいられるかは分かりませんが、今回の丙午年男としての一年を、皆さまや社会に少しでも良い影響を与えられるよう精進してまいります。

最後になりますが、迷信や先入観にとらわれず、一人ひとりの個性や努力が認められる社会であってほしいと心から願っています。

【会長挨拶】 腸と免疫

昨年は皆様の温かいご協力のおかげで、活気ある活動を行うことができました。今年はさらに一歩踏み出し、山形中央ロータリークラブらしい「結束力」と「行動力」を地域に示してまいりましょう。

「楽しく、意義あるロータリー」を目指し、私も精一杯務めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今日は腸と免疫について話したいと思います。

私たちの体のなかで実は「腸」が免疫力の鍵を握っているのをご存知ですか。

腸は私たちをさまざまな病気から守る大切な役割を果たしています。

免疫力が高いと風邪をひきにくく、またひいても治りやすいといわれます。体内でさまざまな免疫細胞が力を合わせて私たちの体を守ってくれているのですが、その免疫細胞の大半が腸内に集まっています。

そのため腸内環境の乱れは免疫力の低下につながります。

ですから腸内環境を整えることは何より大切です。

そのために有効なのは、発酵食品や食物繊維をよく摂り腸内の善玉菌を活発にさせることです。

加えて腸を温めるのも大切です。低体温は腸内細菌を減少させる原因のひとつとなります。反対に体温を少し上げるだけでも免疫力はぐっとアップします。

バランスのとれた食事と十分な睡眠、適度な運動とストレスを溜めないことも腸の健康と免疫力アップにつながります。

何かと忙しく会食も多い年末年始はストレスと食べ過ぎ飲みすぎに十分ご注意ください。



～新年会 式次第～

会長挨拶 会長 本間雅之
ガバナー補佐挨拶 枝松祐子 様
幹事報告

新年会

司会 親睦委員会 明石 昌樹
開会の挨拶 親睦委員長 小泉 俊哉
名誉会員より一言 武田 晃士 さん
遠藤 隆一 さん
乾杯の音頭 直前会長 長谷川 淳
大曾根餅つき保存会による餅つき
会長 本間 雅之
エレクト 相川 博昭
副会長 深瀬 隆志
獅子舞 SAA 玉ノ井 憲史
二人羽織 会長 本間 雅之
エレクト 相川 博昭
副会長 深瀬 隆志
クラブ管理運営委員長 長橋 正人
中締め 副会長 深瀬 隆志



▲ 会長挨拶 会長 本間 雅之



▲ ガバナー補佐挨拶 枝松 祐子 様



▲ 司会
親睦委員会 明石 昌樹



▲ 名誉会員より一言 武田 晃士さん／遠藤 隆一さん



▲ 乾杯の音頭
直前会長 長谷川 淳



▲ 獅子舞
玉ノ井 憲史 会員



▲ 大曾根餅つき保存会
新聞 会長



▲ 餅つき参加 会長 本間 雅之／エレクト 相川 博昭／副会長 深瀬 隆志



▲ 二人羽織 会長 本間 雅之／副会長 深瀬 隆志／クラブ管理運営委員長 長橋 正人／エレクト 相川 博昭



▲ 中締め 副会長 深瀬 隆志





【会長挨拶】 馬の性質

皆様、あけましておめでとうございます。

新春を迎え、会員の皆様と共に、輝かしい新年を祝えますことを心より光栄に存じます。

本日で来賓として枝松ガバナー補佐、名誉会員の武田様、遠藤様においでいただいております。

後ほど挨拶を頂きます、宜しくお願い致します。

さて、今年は午年でございます。

馬は古くから大変縁起の良い動物とされており、その力強く駆ける姿から『物事が円滑に進む』『運氣が一気に駆け上がる』象徴と言われてきました。

特に、馬の性質として『前を向いて走り続ける』、そして『群れを大切にする』という特徴があります。

ロータリー年度も、いよいよ後半戦のスタートです。本年は馬にあやかり、当クラブもさらなる『飛躍』の年にしたいと考えております。

これまで温めてきた奉仕プロジェクトや地域貢献活動、台北永楽ロータリー訪問など、馬が野を駆けるようなスピード感を持って、一丸となって推進してまいりましょう。

本日の新年会では、皆様にとって素晴らしいスタートの一步となりますよう、また、皆様の事業やご家庭が『馬力(ばりき)』全開で、幸多き一年となりますことを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます！





(株)でん六 蔵王の森工場は

山形の自然と綺麗な地下水やその恵みを受けて、1995年に稼働。
自然環境を守りながら美味しく安全なお菓子を作り続けている。

蔵王の森工場はサッカーグラウンド13年分という広大な工場で豆菓子を製造されています。見学中にご紹介いただいた『でん六の極意』、お客様の安全と安心を守り続ける姿勢に感動しました。

五段階の除去行程で異物の侵入を許さない。

- その1 大きさや石等の除去
- その2 X線での除去
- その3 赤い豆の除去
- その4 目視による手選別
- その5 割れた豆の選別

厳しい5段階チェックをクリアした品質の良い豆だけが使われ、最終確認は、熟練職人のチェック熟練職人さん厳しい目と機械の検査に合格した豆だけが次の工程に進むことが出来る。

美味しく食べてもらうために当然のチェックとのお話をいただきました。



【会長挨拶】「でん六」さんの歴史

これから職場訪問例会として「でん六」さんにお伺いします。

でん六さんは、山形の小さなお店から始まりました。

日本を代表する豆菓子メーカーへと成長した背景には、非常に熱い信念があります。

1. 創業年度と歩み

でん六様のルーツは、戦前まで遡ります。

創業：1924年(大正13年)11月

山形市において、初代・鈴木傳六氏が「鈴木傳六商店」として個人創業したのが始まりです。当初は豆菓子ではなく、甘納豆や煮豆の製造販売からスタートしました。

法人設立：1954年(昭和29年)

「株式会社でん六」として組織を整え、その後、看板商品となる「でん六豆」のヒットにより全国へその名が知れ渡ることになります。

2. でん六会長の「こだわり」

現会長の鈴木傳六氏(三代目)が大切にされているのは、単に売上を追うことではなく、**「豆という一粒の命」**に対する誠実さです。

「正直な商売」の徹底

「嘘をつかない、ごまかさない」という姿勢を貫いています。原料の豆の選別から、伝統的な製法を守りつつ最新の技術を取り入れるバランス感覚は、会長の強いこだわりです。

「豆のチカラ」の再定義

豆を単なるお菓子(嗜好品)としてだけでなく、タンパク質や食物繊維が豊富な「健康食品」として捉え、現代人の健康に寄与することに情熱を注いでいます。

地域共生と「赤鬼」の文化

節分行事を大切にするのは、日本人の心を豊かにしたいという想いからです。毎年、世相を反映した「鬼の面」をプロデュースする際も、その時々々の社会へのメッセージが込められているのだそうです。でん六の進化を支える「こだわり」の構図

でん六が100年以上愛され続けている理由は、以下の3つの柱に集約されます。

伝統(Craft): 熟練の職人が豆の「表情」を見て煎り具合を調整。

科学(Science): 豆の栄養素を活かす研究開発。

絆(Connection): 山形の土地を愛し、お客様に「安心」を届ける。

創業から100年を超えてなお、進化を続けるでん六。会長の「豆で人を幸せにする」という哲学は、一粒一粒にしっかり詰まっているのでしょうね。



お誕生日



お誕生日

小泉 俊哉さん、本間 雅之さん、

おめでとうございます！

新会員紹介



新会員
黒田 幸子さん
(合同会社 すす乃樹 代表)



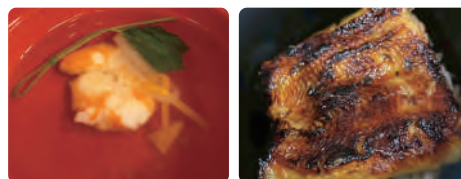
新会員
清野 裕之さん
(株式会社 アイエムエー 代表取締役)

これからよろしくお願いします！

今月のお食事



第1415回 (2026.1.6)



第1416回 (2026.1.20)



「今月のこの人」

Q

- 1 座右の銘
- 2 好きな食べ物
- 3 嫌いな食べ物
- 4 最近嬉しかったこと
- 5 RCに入会して「よかった！」と思うことは？
- 6 あなたにとっての例会とは？
- 7 当クラブの良いところ
- 8 RCを漢字一文字で表すと？

A 深瀬隆志

- 1 実るほど頭を垂れる稲穂かな。
- 2 肉(全般)、甘味品(小豆饅頭)
- 3 なし(親に感謝)
- 4 孫との食事・遊び事
- 5 異業種の先輩方々と知り合えた事
- 6 学びの場、情報交換
- 7 楽しく活動が出来ること
- 8 「学」

Q

A



2026.1.6

本間雅之／あけましておめでとうございます。
鈴木陽子／清野さん、黒田さん、中央RCによ

こそ！良い時間をすごしましょう。山辺RCの皆さまの来訪ありがとうございました。

丹野秀樹・小泉俊哉・伊藤和子・相川博昭・明石昌樹／明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。黒田さん、清野さん、山形中央RCへようこそ！これからよろしくお願いいたします。

長橋正人・齋藤真・佐藤登美子・奥山宏・柴田修英・田村浩一／新年あけましておめでとうござ

います。清野さん、黒田さん、入会歓迎致します。今年も一年よろしくお願い致します。

2026.1.27

黒田幸子／新たに子ども食堂オープン(輝く☆子ども未来食堂)。1/25オープン企画として新春もちつき大会開催

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

今年の干支は「丙午」です。干支は甲乙で始まる十干と十二支の組み合わせで全部で六十通りですが、その四十三番目になります。そして丙午は十干の三番目で葉が広がり成長が著しい状態を意味するそうです。

今年初めの例会は、年男の奥山さん柴田さん米野さんの会員卓話で、今年の年男としての抱負をお話しいただきました。今年は午年にあやかって飛躍の年にしたいものです。また清野さん黒田さんのお二人が新たに山形中央ロータリークラブ会員として仲間に加わり会員相互の親睦を深めロータリークラブ活動に精進してまいりたいと思います。

2026.1.6 田村浩一